

### 第3章 新水都創生シンボルタワー

中之島を含む大川沿いの一帯や大阪城周辺は、いわば「ハート・オブ・オーサカ」と呼ぶべき地域であり、「水都・大阪」の創生を力強く牽引することが求められている。その具体策として、この地域に「水都・大阪」のシンボル創生を提案したい。このことは、隣接する御堂筋の国際ストリート化にも繋がっていくものと認識している。

#### 具体策 シンボルタワー

- ・新水都創生のシンボルとして、大阪の心臓部にあたる「中之島」と背骨をなす「御堂筋」の交点にシンボルタワーを建設する。
- ・シンボルタワーは、パリのエッフェル塔やトロントのCNタワーに匹敵するような、世界都市・大阪の中心街に相応しい景観を整え、大阪のシンボルとしての高い情報発信力や、水都を一望する観光スポットとしての役割を兼ね備えるものとする（カフェやレストランをはじめミュージアム・展望台等の多目的施設を備える）。
- ・シンボルタワーに関する国際コンセプトコンペを行い、国内外の叡智を結集して、新水都創生に相応しい情報発信力のあるユニークなものに仕立て上げる。
- ・シンボルタワーの建設にあたっては、民間の資金を導入できる仕組みを構築する。市民ぐるみで取り組み、運動体になることが求められる。
- ・シンボルタワーの建設によって、大阪のバイタリティを再生するとともに、大阪の水都創生への並々ならぬ心意気を国内外に示すこととする。